

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

1 各施設の情報

	成瀬	木曽森野 ^{※1}	三輪 ^{※2}	つくし野	
基本情報	該当ページ	326	328	330	332
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	-	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	41.6%	-	43.2%	59.7%
行政費用(千円)	人件費	5,195	5,375	6,773	5,288
	物件費	26,530	14,996	19,234	15,094
	うち委託料	17,488	9,896	10,853	10,438
	うち光熱水費	8,263	4,592	7,734	4,135
	維持補修費	87	58	94	621
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	59,125		4,948	11,545
	賞与・退職手当引当金繰入額	520	605	367	524
行政費用合計	91,457	21,034	31,416	33,072	
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	1,850	1,000	1,190	1,003
	1m ² あたりコスト(円)	49,436	21,034	26,400	32,973
	利用総人数(人)	47,540	31,750	25,557	39,262
	利用者1人あたりコスト(円)	1,924	662	1,229	842
	開館日数(日)	347	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	263,565	60,617	90,536	95,308

※1 東京都から無償で借りて運営している木曽森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(m ²)	1,488
コミュニティセンター面積(m ²)	1,190
按分減価償却費(千円)	4,948

2 施設配置図



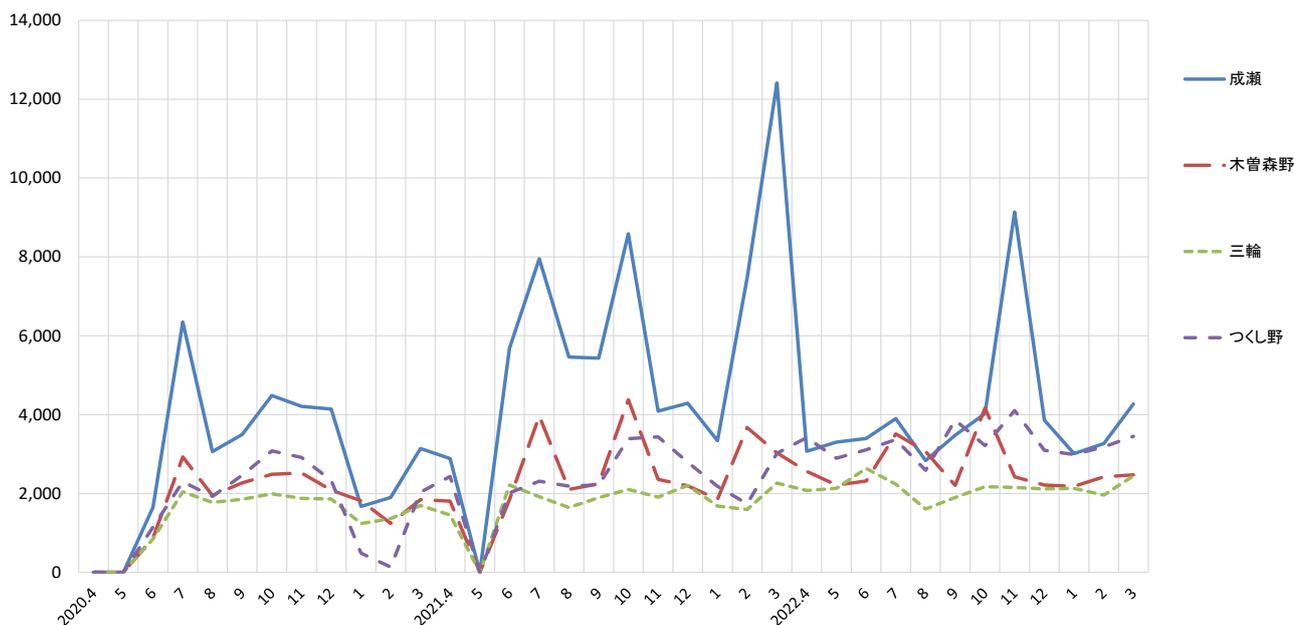
3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2020年度	成瀬	0	0	1,647	6,350	3,062	3,496	4,481	4,211	4,140	1,672	1,900	3,141	34,100
	木曾森野	0	0	873	2,926	1,948	2,271	2,488	2,519	2,084	1,817	1,243	1,841	20,010
	三輪	0	0	846	2,041	1,775	1,853	1,989	1,876	1,863	1,234	1,360	1,693	16,530
	つくし野	0	0	1,150	2,297	1,927	2,462	3,079	2,915	2,330	486	135	2,031	18,812
	計	0	0	4,516	13,614	8,712	10,082	12,037	11,521	10,417	5,209	4,638	8,706	89,452
2021年度	成瀬	2,886	0	5,684	7,951	5,459	5,434	8,586	4,088	4,289	3,338	7,467	12,413	67,595
	木曾森野	1,807	0	1,845	3,965	2,102	2,248	4,374	2,355	2,193	1,850	3,673	3,028	29,440
	三輪	1,452	0	2,215	1,917	1,645	1,894	2,102	1,907	2,205	1,682	1,591	2,266	20,876
	つくし野	2,429	0	2,013	2,309	2,184	2,218	3,389	3,436	2,793	2,182	1,736	3,020	27,709
	計	8,574	0	11,757	16,142	11,390	11,794	18,451	11,786	11,480	9,052	14,467	20,727	145,620
2022年度	成瀬	3,068	3,303	3,395	3,901	2,833	3,477	4,024	9,137	3,856	3,008	3,267	4,271	47,540
	木曾森野	2,560	2,215	2,315	3,511	3,065	2,206	4,170	2,421	2,212	2,181	2,420	2,474	31,750
	三輪	2,073	2,129	2,636	2,237	1,607	1,897	2,173	2,154	2,116	2,130	1,959	2,446	25,557
	つくし野	3,417	2,894	3,105	3,366	2,589	3,863	3,212	4,104	3,095	2,985	3,181	3,451	39,262
	計	11,118	10,541	11,451	13,015	10,094	11,443	13,579	17,816	11,279	10,304	10,827	12,642	144,109
2022年度 対前年度 比率	成瀬	106.3%	皆増	59.7%	49.1%	51.9%	64.0%	46.9%	223.5%	89.9%	90.1%	43.8%	34.4%	70.3%
	木曾森野	141.7%	皆増	125.5%	88.5%	145.8%	98.1%	95.3%	102.8%	100.9%	117.9%	65.9%	81.7%	107.8%
	三輪	142.8%	皆増	119.0%	116.7%	97.7%	100.2%	103.4%	113.0%	96.0%	126.6%	123.1%	107.9%	122.4%
	つくし野	140.7%	皆増	154.2%	145.8%	118.5%	174.2%	94.8%	119.4%	110.8%	136.8%	183.2%	114.3%	141.7%
	計	129.7%	皆増	97.4%	80.6%	88.6%	97.0%	73.6%	151.2%	98.2%	113.8%	74.8%	61.0%	99.0%

(人)



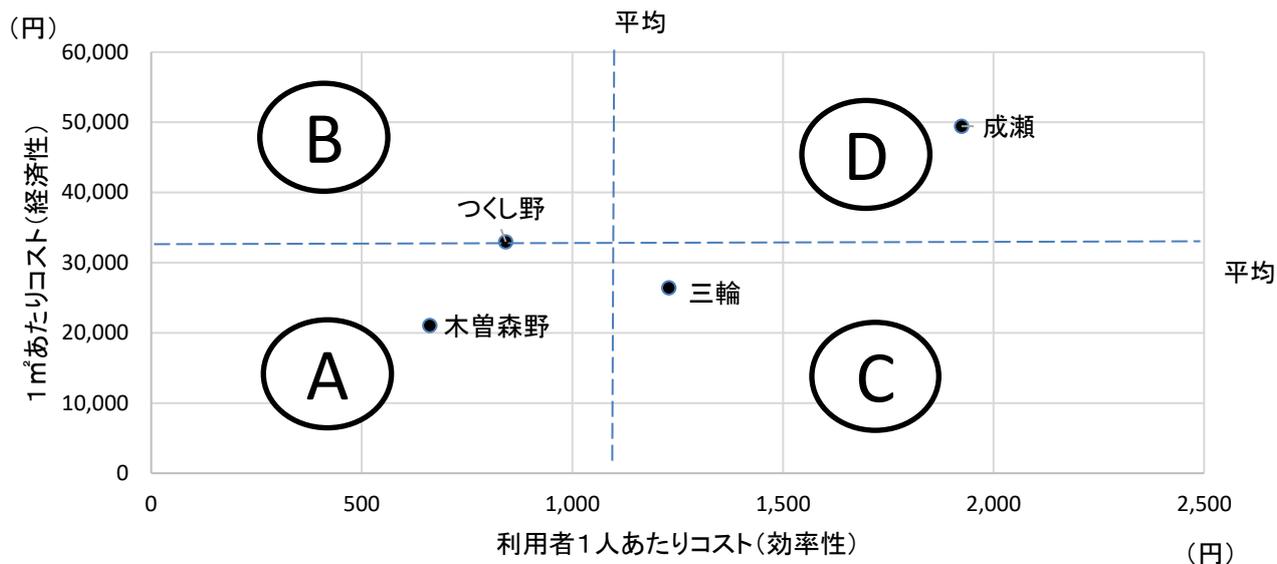
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①2021年度に比べ木曾森野、三輪、つくし野で利用人数が増加しました。これは新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことに加え、施設に空気清浄機を設置したこと、また、利用者にマスクの着用や手指消毒などの必要な対策を講じていただいた結果だと考えられます。
- ②成瀬が2021年度に比べて利用人数が減少しているのは、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場としての使用が減ったためです。
- ③成瀬が、2022年10月から12月に利用人数が大きく増加していますが、これは新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となったためです。

5 2021年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・施設貸出の時間帯区分として、午前、午後、夜間としていますが、すべての施設において夜間帯の利用率が低い状況です。施設利用率向上のため、夜間利用が見込める若年層や働き世代に向けて積極的な周知活動を行い、新規の利用につながるよう努めます。
- ・すべての施設においてホールは80%以上の利用率がありますが、和室等のいくつかの部屋では利用率が50%未満となっています。利用率が低い部屋については、予約がとりやすい部屋として積極的に周知を行うなど、新規の利用につながるよう努めます。
- ・施設の適切な維持管理のために、計画的に修繕を実施します。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

- ① 物件費の特徴について
全施設で、電気料金・ガス料金の高騰により、光熱水費が増加しています。
Dの特徴：成瀬は、施設規模が大きく、部屋数も多いため、施設を維持管理するために必要となる委託料等が他施設と比べて高くなっています。
- ② 施設規模の特徴について
Aの特徴：木曾森野は、東京都が建物を所有しているため減価償却費はありません。そのため、開館1日あたりコストが最も低くなっています。
Dの特徴：成瀬は、施設規模が大きく、物件費及び減価償却費が高いため、開館1日あたりコストが最も高くなっています。
- ③ 利用者数の特徴について
2021年度と比較して、木曾森野、三輪、つくし野は、利用総人数が増加したため、利用者1人あたりコストが減少しました。
Dの特徴：成瀬は他施設と比べて規模が大きいこと、また、新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用されたため、利用総人数が多くなっています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・利用の少ない若年層への利用促進など、施設利用率を向上させていく必要があります。
- ・便利で楽しい地域の拠点として機能していくよう、効率的・効果的な管理運営手法の導入などに取り組みます。
- ・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。

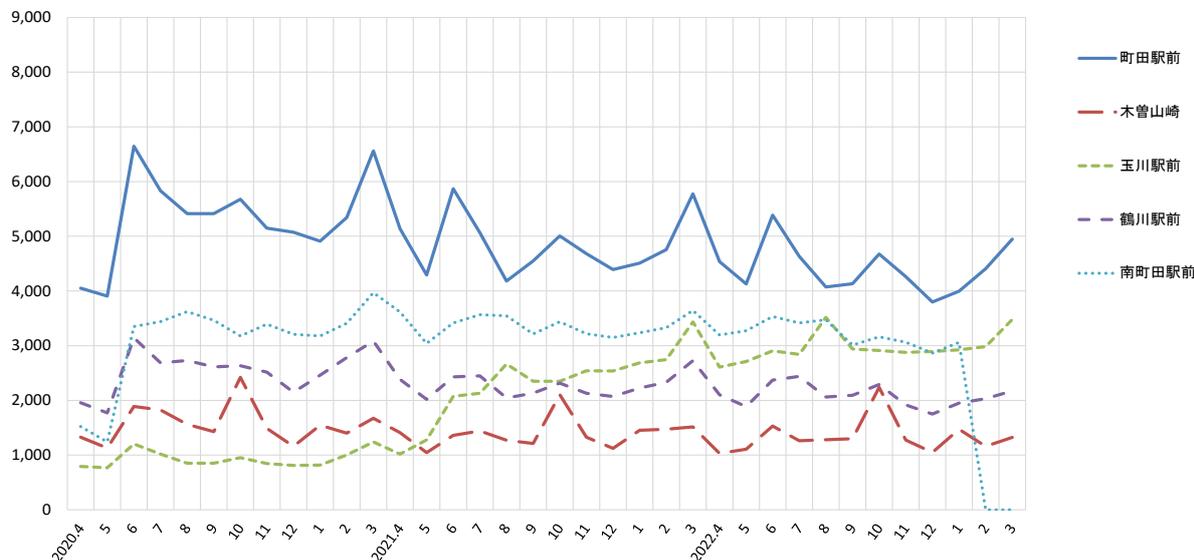
3 事業の成果の月次推移

行政窓口取扱件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2020年度	町田駅前	4,051	3,907	6,645	5,832	5,413	5,414	5,676	5,147	5,075	4,911	5,343	6,559	63,973
	木曾山崎	1,326	1,129	1,890	1,826	1,561	1,429	2,420	1,489	1,160	1,545	1,402	1,674	18,851
	玉川駅前	793	768	1,205	1,018	852	851	954	846	811	819	1,003	1,241	11,161
	鶴川駅前	1,958	1,771	3,142	2,685	2,730	2,611	2,633	2,516	2,149	2,461	2,781	3,084	30,521
	南町田駅前	1,521	1,241	3,349	3,441	3,621	3,465	3,177	3,393	3,208	3,176	3,409	3,968	36,969
	計	9,649	8,816	16,231	14,802	14,177	13,770	14,860	13,391	12,403	12,912	13,938	16,526	161,475
2021年度	町田駅前	5,140	4,292	5,869	5,065	4,180	4,548	5,005	4,681	4,390	4,509	4,756	5,775	58,210
	木曾山崎	1,412	1,046	1,360	1,440	1,272	1,213	2,106	1,328	1,123	1,453	1,471	1,516	16,740
	玉川駅前	1,017	1,278	2,076	2,131	2,666	2,349	2,349	2,542	2,538	2,686	2,745	3,433	27,810
	鶴川駅前	2,385	2,019	2,429	2,447	2,045	2,133	2,316	2,129	2,071	2,225	2,332	2,728	27,259
	南町田駅前	3,617	3,040	3,415	3,568	3,546	3,216	3,437	3,219	3,151	3,235	3,330	3,644	40,418
	計	13,571	11,675	15,149	14,651	13,709	13,459	15,213	13,899	13,273	14,108	14,634	17,096	170,437
2022年度	町田駅前	4,538	4,130	5,386	4,632	4,074	4,133	4,677	4,262	3,798	3,997	4,408	4,947	52,982
	木曾山崎	1,031	1,107	1,532	1,263	1,282	1,298	2,237	1,276	1,048	1,473	1,159	1,325	16,031
	玉川駅前	2,610	2,712	2,907	2,842	3,518	2,940	2,911	2,879	2,893	2,924	2,983	3,481	35,600
	鶴川駅前	2,103	1,886	2,370	2,438	2,062	2,094	2,291	1,918	1,751	1,951	2,030	2,175	25,069
	南町田駅前	3,196	3,272	3,533	3,416	3,474	3,011	3,162	3,064	2,864	3,059	-	-	32,051
	計	13,478	13,107	15,728	14,591	14,410	13,476	15,278	13,399	12,354	13,404	10,580	11,928	161,733
2022年度 対前年度 比率	町田駅前	88.3%	96.2%	91.8%	91.5%	97.5%	90.9%	93.4%	91.0%	86.5%	88.6%	92.7%	85.7%	91.0%
	木曾山崎	73.0%	105.8%	112.6%	87.7%	100.8%	107.0%	106.2%	96.1%	93.3%	101.4%	78.8%	87.4%	95.8%
	玉川駅前	256.6%	212.2%	140.0%	133.4%	132.0%	125.2%	123.9%	113.3%	114.0%	108.9%	108.7%	101.4%	128.0%
	鶴川駅前	88.2%	93.4%	97.6%	99.6%	100.8%	98.2%	98.9%	90.1%	84.5%	87.7%	87.0%	79.7%	92.0%
	南町田駅前	88.4%	107.6%	103.5%	95.7%	98.0%	93.6%	92.0%	95.2%	90.9%	94.6%	-	-	79.3%
	計	99.3%	112.3%	103.8%	99.6%	105.1%	100.1%	100.4%	96.4%	93.1%	95.0%	72.3%	69.8%	94.9%

(件)



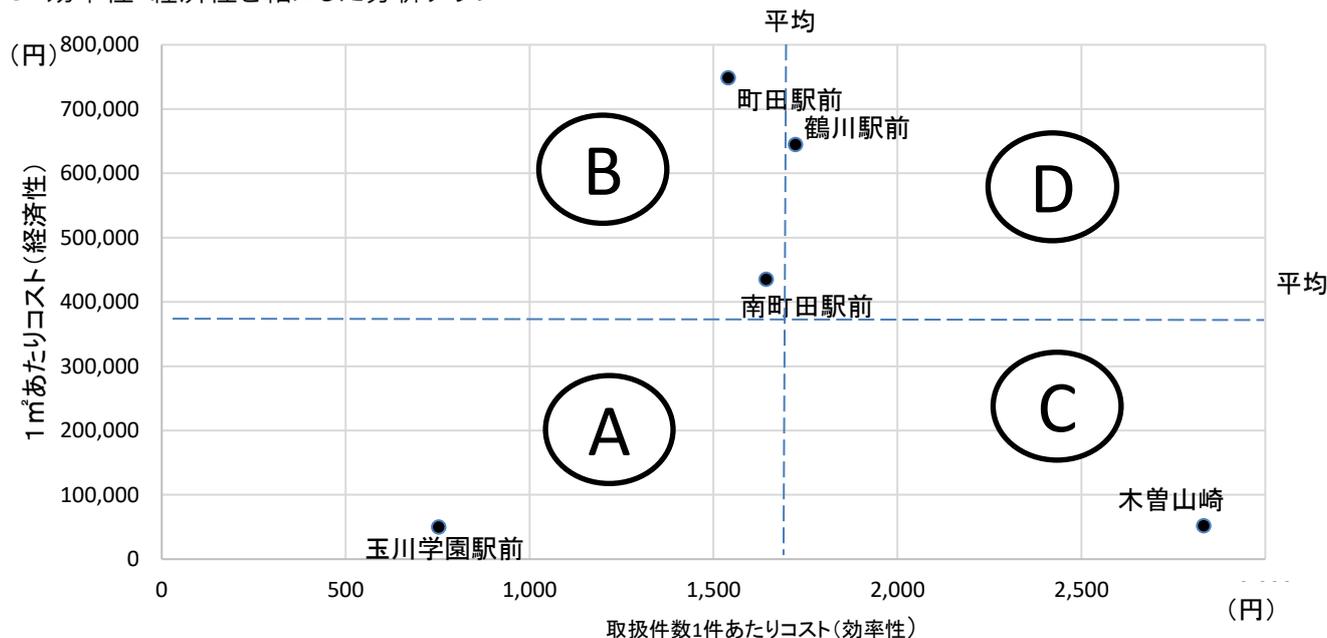
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①例年、3月は住所異動等の増加、6月は税務証明書の年度切替、10月はシルバーパスの申請やUR都市機構入居者の減額措置の申請により、証明書交付件数が増加するため、行政窓口取扱件数が多くなっています。
- ②玉川学園駅前連絡所は、市立図書館資料のリクエスト、受け取り、返却サービスの利用者数が、2021年度に比べて約1.6倍となり、7,597人増加しました。
- ③2023年1月末日で南町田駅前連絡所は閉所しました。

5 2021年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加などにより、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書交付に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。
- ・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は、安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。
- ・施設に安心して来所いただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①人件費の特徴について

全体の特徴: 平日の夜間や土日でも開所している町田駅前連絡所、鶴川駅前連絡所、南町田駅前連絡所と比べると、玉川学園駅前連絡所及び木曾山崎連絡所は、職員の配置人員が少なくなっています。

Bの特徴: 町田駅前連絡所は、市内で最も乗降者が多い町田駅前という利便性の高い立地であること、平日の夜間や土日でも開所していることから、配置されている人員が他の連絡所に比べて多いため、人件費が高くなっています。

②施設規模の特徴について

A・Cの特徴: 玉川学園駅前連絡所、木曾山崎連絡所は、行政窓口業務のほかに施設貸出業務を行っているため、施設規模が大きく1㎡あたりコストは低くなっています。

B・Dの特徴: 町田駅前連絡所と鶴川駅前連絡所は、延床面積が他の施設に比べて狭く、1㎡あたりコストが高くなっています。

③行政窓口取扱総件数、施設利用総人数の特徴について

全体の特徴: マイナンバー制度による情報連携により証明書が不要になった手続きが増えたことや、コンビニ交付の増加により、証明書交付件数が減少しています。

Aの特徴: 玉川学園駅前連絡所は、行政窓口業務、施設貸出業務のほかに児童図書室の運営や市立図書館の貸出業務を行っており、行政窓口取扱件数の1件あたりのコストは最も低くなっています。

Cの特徴: 木曾山崎連絡所は駅から遠方のため他の連絡所と比べて証明書交付件数が少なくなっています。一方、施設の老朽化による維持補修費や減価償却費が単位あたりコストに大きく影響しています。

Bの特徴: 南町田駅前連絡所は2023年1月末に閉所しました。維持補修費など閉所に伴う費用が増加しました。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加により、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書交付に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。
- ・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は、安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

1 各施設の情報

		もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 ^{※1} (町田)	くぬぎ館 ^{※1} (木曽山崎)	けやき館 ^{※1} (堺)	桜館 ^{※2} (小山田)
基本情報	該当ページ	226	228	230	232	234	236
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	79.2%	63.4%	-	-	-	56.1%
行政費用(千円)	人件費	16,411	14,140	14,439	12,457	18,701	871
	物件費	6,662	8,216	8,254	6,799	3,959	34,559
	うち委託料	4,396	5,251	5,001	4,471	2,483	34,427
	うち光熱水費	1,531	1,962	2,830	1,415	1,049	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 ^{※3}						6,021
	指定管理委託料 うち人件費 ^{※3}						14,294
	維持補修費	388	66	251	402	284	0
	補助費等	160	162	185	78	134	0
	減価償却費	2,422	6,590	4,494	3,659	5,162	15,068
	賞与・退職手当引当金繰入額	9,192	299	208	233	4,371	260
	行政費用合計	35,235	29,473	27,831	23,628	32,611	50,758
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	581	720	826	493	359	1,074
	1m ² あたりコスト(円)	60,645	40,935	33,694	47,927	90,838	47,261
	利用総人数(人)	17,342	16,105	11,422	20,092	10,540	18,319
	利用者1人あたりコスト(円)	2,032	1,830	2,437	1,176	3,094	2,771
	開館日数(日)	295	295	294	294	294	295
	開館1日あたりコスト(円)	119,441	99,908	94,663	80,367	110,922	172,061

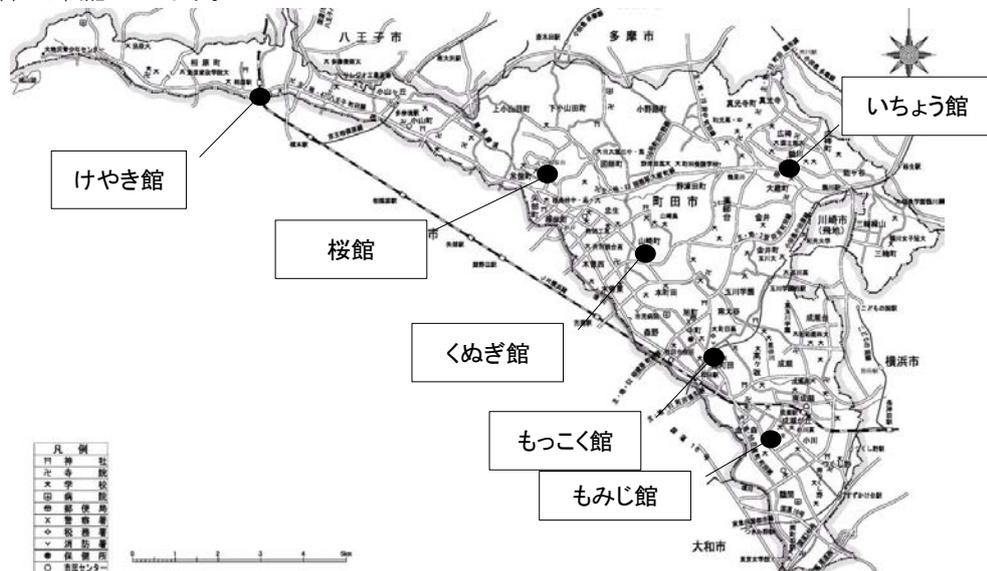
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	24,105	15,607	41,125	39,621
複合施設全体面積(m ²)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m ²)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,494	3,659	5,162	15,068

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出しています。

※3 受託法人の決算資料から転記しています。

2 施設配置図



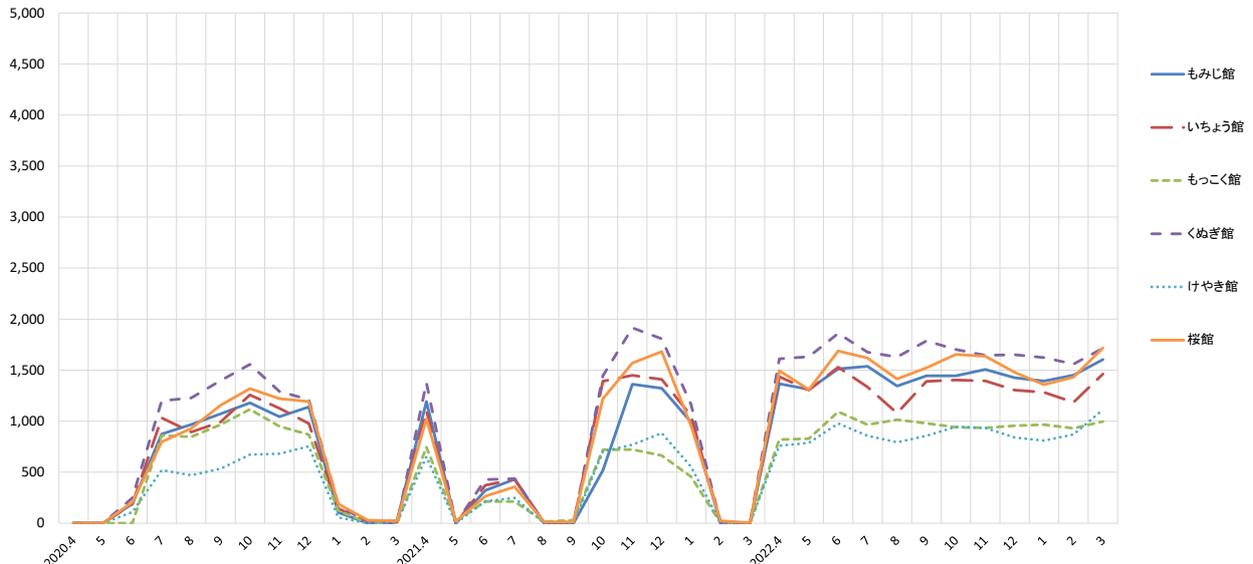
3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2020年度	もみじ館	0	0	190	874	967	1,072	1,180	1,044	1,140	107	0	25	6,599
	いちよう館	0	0	187	1,032	893	992	1,258	1,126	978	144	12	9	6,631
	もっこく館	0	0	0	859	846	965	1,116	949	868	124	0	0	5,727
	くぬぎ館	0	0	248	1,200	1,228	1,397	1,556	1,292	1,211	187	0	0	8,319
	けやき館	0	0	109	521	471	534	673	681	753	58	0	9	3,809
	桜館	0	0	206	797	929	1,156	1,320	1,221	1,193	190	29	22	7,063
	計	0	0	940	5,283	5,334	6,116	7,103	6,313	6,143	810	41	65	38,148
2021年度	もみじ館	1,192	0	321	431	0	0	518	1,362	1,323	990	0	0	6,137
	いちよう館	1,103	0	372	432	0	0	1,391	1,449	1,409	1,052	0	0	7,208
	もっこく館	745	22	213	212	15	29	719	723	663	456	0	0	3,797
	くぬぎ館	1,377	0	428	436	0	0	1,445	1,915	1,807	1,162	0	0	8,570
	けやき館	651	0	216	248	0	0	702	770	883	553	0	0	4,023
	桜館	1,021	19	264	357	14	13	1,219	1,570	1,682	955	24	4	7,142
	計	6,089	41	1,814	2,116	29	42	5,994	7,789	7,767	5,168	24	4	36,877
2022年度	もみじ館	1,366	1,312	1,512	1,537	1,345	1,445	1,445	1,507	1,426	1,393	1,450	1,604	17,342
	いちよう館	1,436	1,304	1,529	1,334	1,079	1,390	1,404	1,394	1,305	1,282	1,185	1,463	16,105
	もっこく館	820	829	1,092	966	1,014	979	940	934	955	966	930	997	11,422
	くぬぎ館	1,611	1,632	1,860	1,676	1,629	1,787	1,703	1,645	1,651	1,623	1,560	1,715	20,092
	けやき館	759	787	977	857	793	856	945	933	841	809	870	1,113	10,540
	桜館	1,494	1,309	1,688	1,618	1,413	1,522	1,654	1,636	1,478	1,358	1,431	1,718	18,319
	計	7,486	7,173	8,658	7,988	7,273	7,979	8,091	8,049	7,656	7,431	7,426	8,610	93,820
2022年度 対前年度 比率	もみじ館	114.6%	皆増	471.0%	356.6%	皆増	皆増	279.0%	110.6%	107.8%	140.7%	皆増	皆増	282.6%
	いちよう館	130.2%	皆増	411.0%	308.8%	皆増	皆増	100.9%	96.2%	92.6%	121.9%	皆増	皆増	223.4%
	もっこく館	110.1%	3768.2%	512.7%	455.7%	6760.0%	3375.9%	130.7%	129.2%	144.0%	211.8%	皆増	皆増	300.8%
	くぬぎ館	117.0%	皆増	434.6%	384.4%	皆増	皆増	117.9%	85.9%	91.4%	139.7%	皆増	皆増	234.4%
	けやき館	116.6%	皆増	452.3%	345.6%	皆増	皆増	134.6%	121.2%	95.2%	146.3%	皆増	皆増	262.0%
	桜館	146.3%	6889.5%	639.4%	453.2%	10092.9%	11707.7%	135.7%	104.2%	87.9%	142.2%	5962.5%	42950.0%	256.5%
	計	122.9%	17495.1%	477.3%	377.5%	25079.3%	18997.6%	135.0%	103.3%	98.6%	143.8%	30941.7%	215250.0%	254.4%

(人)



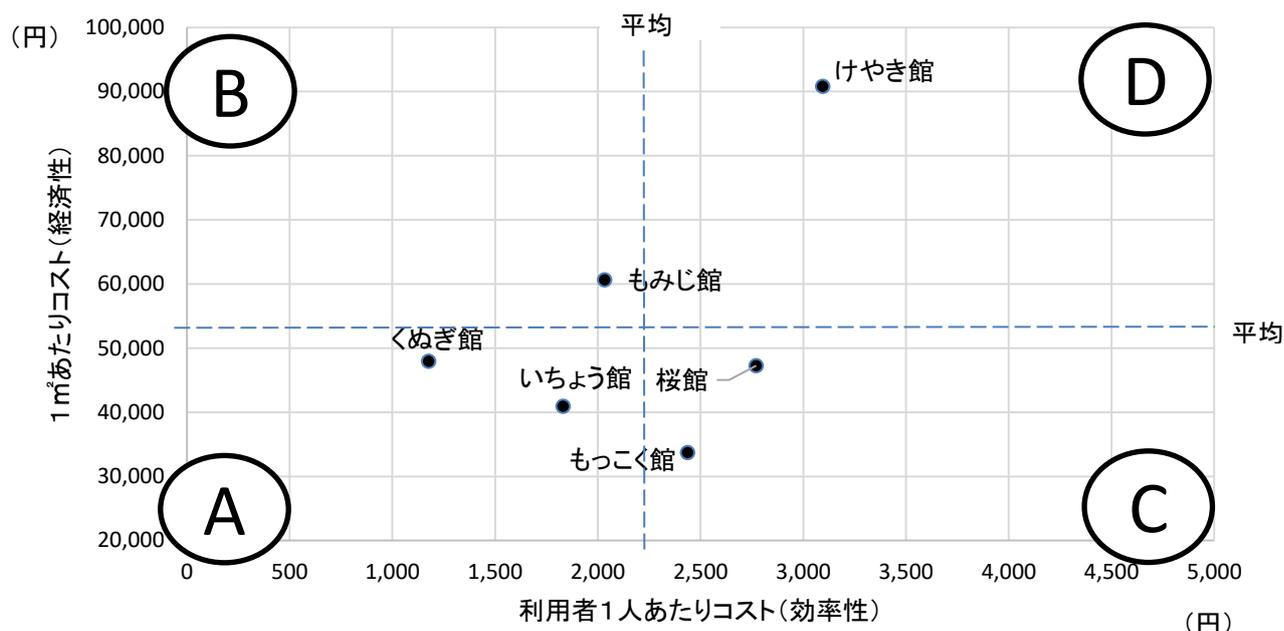
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、臨時休館を行うことなく、年間を通じて開館しました。
- ②開館にあたっては、午前の部（9：00から12：00）、午後の部（13：00から16：00）の2部制で行いました。
- ③一部のふれあい館において、月次利用人数が2021年度の同月利用人数を下回る月がありました。
- ④2021年度の同月利用人数を下回った月（2022年11月、12月）は、新型コロナウイルス第8波の時期と重なります。
- ⑤2021年度との年間利用人数比較では全6館で増加し、各ふれあい館の年間利用人数が前年度比で2.2倍から3.0倍となりました。

5 2021年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・2022年度に「ふれあい館のあり方検討」を実施します。2020年度に導入した来館者システムから、来館者の年齢層・一人当たりのふれあい館利用回数等の情報を分析し、検討の際に活用します。
 ・ふれあい館の効果的、効率的な事業運営へのためには、「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、A区分に近づける必要があります。
 ・近隣自治体の同種施設との効率性・経済性の比較をすることで、ふれあい館運営に適切なコストを検討していく必要があります。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①行政費用の特徴について

・桜館を除く5館では、人件費が行政費用の多くの割合を占めています。5館の行政費用に対する人件費の割合は平均で51.3%です。
 ・桜館のみ指定管理者制度を導入しています。このため桜館の行政費用は物件費の割合が一番多く、68.1%を占めています。

②1㎡あたりコストの特徴について

・1㎡あたりコストの平均は53,550円です。2021年度決算時は48,272円だったため、5,278円増加しました。
 ・2021年度と比較して、もみじ館及びけやき館の行政費用が大きく増加したため、2館の1㎡あたりコストが約20,000円増加しています。もみじ館及びけやき館の主な行政費用の増加要因は、人件費と賞与・退職手当引当金繰入額の増加によるものです。
 ・2021年度と比較して、くぬぎ館は人件費が減少したため、1㎡あたりコストが8,000円以上減少しています。

③利用者1人あたりコストの特徴について

・利用者1人あたりコストの平均は2,223円です。2021年度決算時は5,327円だったため、3,104円減少しました。
 ・2021年度と比較して、ふれあい館の利用総人数が増加したため、利用者1人あたりコストが減少しました。利用総人数の増加は、臨時休館することなく、年間を通じて開館できたことによるものです。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・2022年度実施した「ふれあい館のあり方検討会」の結果を踏まえ、「介護予防・健康づくり」をふれあい館における重点取り組み項目に位置付けました。今後は「介護予防・健康づくりに関連した取り組み」「より多くの高齢者の利用につながる取り組み」「特に単身高齢者にとっての外出の機会となる取り組み」を実施していく必要があります。このことから、2023年度は「介護予防・健康づくり」の講座・イベントを開催します。
 ・来館者システムを活用して、来館者の滞在時間等の情報を分析し、各ふれあい館の傾向を把握していきます。
 ・ふれあい館の効果的、効率的な事業運営へのためには、「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、A区分に近い施設をA区分に近づける必要があります。

